

新規のたんぱく質、糖鎖、微量元素の腫瘍マーカー探索

1. 研究の対象

2018年2月以降に当院で消化器癌、婦人科癌、泌尿器癌、肺癌、血液腫瘍、肉腫で治療を受けられ方、及び、人間ドックを受診された方

2. 研究目的・方法

特定のたんぱく質や糖鎖が腫瘍マーカーとして癌の診断に広く利用されています。例えば、肝臓癌に対する AFP や大腸癌に対する CEA などはたんぱく質の腫瘍マーカーです。また、CA19-9 は膵臓癌をはじめとする消化器癌で使われている糖鎖腫瘍マーカーです。しかし、癌の診断の精度向上、さらには早期診断にむけて、さらなる腫瘍マーカーの開発が必要です。本研究では、手術サンプル、血清、尿などに存在するたんぱく質や糖鎖、微量元素を詳細に解析することにより、新規の腫瘍マーカーを探索します。試料の保管、解析は主に、大阪国際がんセンター内で行われますが、一部は、大学などの研究機関や外部の民間会社に送付、保管し、共同研究することがあります。

研究実施期間 2018年2月～2027年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、カルテ番号 等

試料：血液、尿、手術により切除されたがんや肉腫などの組織

4. 外部への試料・情報の提供

試料の保管、解析は主に、大阪国際がんセンター内で行われますが、一部の試料および情報は大学などの研究機関や外部の民間会社に郵送し、保管され、共同研究することがあります。提供に際しては個人を識別する情報は全部取り除き、代わりに検体番号を付し、匿名化を行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管、管理します。

5. 研究組織

大阪国際がんセンター 宮本 泰豪

岐阜大学 中嶋 和紀

株式会社レナテック 加藤 桂

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

様式第 1-4 (Ver. 29.3)

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先、研究代表者：

大阪国際がんセンター 臨床検査科 副部長 宮本 泰豪

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181